

# 城西人文研究

第34巻

2019

- 
- 戦後俳句史の「事件」としての金子兜太  
その歩みと思想の展開 ……………伊 東 裕 起 (1)
- 近代日本の温州蜜柑産地形成における苗木産地の寄与  
—兵庫県川邊郡稲野村の「池田苗」に注目して— ……豊 田 紘 子 (29)
- マーティン・ルーサー・キング・ジュニアが夢見た世界：  
キングの夢を引き継ぐための考察 ……………大 橋 稔 (47)
- 蔵造りの町並みに対する観光資源としての評価成立過程  
—川越・倉敷・掛塚の比較をとおして—  
山下琢巳・柳澤智美・小口千明・古川 克 (77)
- \*            \*            \*
- 日向国延岡藩内藤充真院著「五十三次ねむりの合の手」小考  
……………神 崎 直 美 (1)
- イエイツ『幻想録』(一九二五)に見る両極的思考の構図(その二)  
—「序論」と「本論・第一節」を中心に— ……………小 堀 隆 司 (39)
- 

城西大学

経済学会



# 城西人文研究

第34卷

2019年

城 西 大 学

## 城西人文研究 既刊総目次

## 創刊号 (1973年)

序	武市春男
『城西人文研究』の創刊に際して	蒔田栄一
ニーチェとキリスト教倫理	木阪昌知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞末堯司
意味と認識	
——パース研究(4)——	西勝忠男
シーハラヴァットパカラナ訳註(Ⅱ)	
——第1章 第3・4・5話——	森祖道
独白と対話	
——ジョイスとペローの距離——	茂呂公一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水田宗子
内村鑑三おぼえ書き(その八)	岩谷元輝
人間の社会的構造と疎外	松浦孝作
『靈魂の系図』について	
——Carlyleを中心として——	松田福松
カフカの世界	
——非ユダヤ的ユダヤ人——	山口勲

## 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集——(1974年)

巻頭言	武市春男
バスク語の単文における語順の文体的価値について	堀田郷弘
内村鑑三おぼえ書(その九)	岩谷元輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造(1)	木阪昌知
『サムラー氏の惑星』試論	森哲夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考	太田広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム(Ⅳ)	
——マーケティングと宗教の関連において——	渡辺好章
遠近法と身体性について	山口勲

同一性（アイデンティティ）に関する諸問題——その一	帆 足 喜与子
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——	黄色 瑞 華
「紙」以前の書写の用材について——	井口 大 介
故蒔田栄一教授 追悼	松 田 福 松
ああ蒔田栄一先生よ	伊 部 政 一

### 第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題	貞 松 堯 司
発見の哲学——パース研究(6)——	西 勝 忠 男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較——	田 村 正 夫
鉄齋と華山	小 野 浩
日本民主主義研究序論	森 田 昌 幸
遠近法と身体性——その哲学的意味——	山 口 勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i>	水 田 宗 子
『おらが春』の素材	黄色 瑞 華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで——	堀 田 郷 弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識——	茂 呂 公 一
作品とその批評 —— <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere”——	萩 原 博 子
司馬遷論	黒 羽 英 男
三代日本主義の系譜について	松 田 福 松

### 第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究(7)——	西 勝 忠 男
カントの「定言命法」	山 口 勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした——	貞 末 堯 司
クレアラ・アン・ペイター覚え書	萩 原 博 子

## 『教育者としてのショーペンハウアー』から

——ニーチェと自然——	河内信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——	陶山 睦
冷たき牧歌	
——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——	永井豊実
『おらが春』の素材（続）	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野浩

## 第5号（1978年）

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūrāni 源泉資料年代論	森 祖道
大学英語教育の問題点（上）	鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）	萩原博子
『シンペリン』皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口 勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960年2月22日）	
と東京羽田空港におけるインタビュー（2月29日）	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）	陶山 睦
ニーチェと自然（一）	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって	黄色瑞華

## 第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口 勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察	
——特に応用とその解釈をめぐって——	駒崎 勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅰ）	
——我国におけるジョイス評価の推移——	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's <i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造 ——「運命」「眠り」「時」——	小野 昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』——	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華

## 第7号 (1980年)

## ヤスパースとフッサール

—精神病理学の哲学的基礎— ……………山 口 勲

PANTUN—puisi dan puisi rupa— ……………黄 色 瑞 華

国際水利法に関する一考察……………土 屋 生

ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)

—我国におけるジョイス評価の推移— ……………茂 呂 公 一

## The Development of the Audiolingual Approach

—Trends in Language Methodology in the United States—

……………Fumiko Tamura

『空騒ぎ』の冥と光—偽りの力学— ……………戸 所 宏 之

「エンディミオン」における映像のあり方 ……………永 井 豊 実

『ヴェニス商人』における Venture について ……………小 野 昌

カミュとニーチェ—『異邦人』と〈神の死〉— ……………村 岡 正 明

アンドレ・ジッドの方法 (IV)—生命の美学— ……………陶 山 暎

「騎士と死神と悪魔」

—『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐる—

……………河 内 信 弘

## 第8号 (1981年)

ヴィトゲンシュタインのケムブリッジ……………山 口 勲

アメリカ文化論 (I) ……………小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三

シャルル・モーロンの「精神批評」(1)……………越坂部 則 道

「高き山々の頂きから」

—『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み— ……河 内 信 弘

思想家としてのニーチェ……………小 野 浩

『四山藁』の俳論 ……………黄 色 瑞 華

## 第9号 (1982年)

アメリカ文化論 (II) ……………金 勝 久

ジョイスのパドバ・エッセイについて……………茂 呂 公 一

アンドレ・マルローの最初の美術論

《La Peinture de Galanis》(1922) について

- マルローの初期の美術論の研究(前)— ……………堀 田 郷 弘  
 シャルル・モーロンの「精神批評」(2)……………越坂部 則 道  
 教育場面における夢の活用 (I)  
 —その背景としてのフロイトとユング— ……………細 部 国 明  
 身・語・意の三業 (tīni kammāni) と carita, saṅkhāra,  
 samācāra ……………池 田 練太郎  
 詩的コスモゴニーへの論理  
 —ランボー詩の内的世界— ……………川那部 保 明  
 ハイデガー先生の想ひ出……………小 野 浩  
 [研究ノート]  
 俳諧連歌における謡曲の文句取り (一) ……………黄 色 瑞 華

第 10 号 (1983 年)

ヴィトゲンシュタイン：太洋の測量技師

- 逆限定のパトス— ……………山 口 勲  
 アメリカ文化論 (Ⅲ) ……………金 勝 久  
 ジョイスのディケンズ・エッセイについて……………茂 呂 公 一  
 教育場面における夢の活用 (II)  
 —夢と宗教—……………細 部 国 明

Zur Entwicklung der deutschen Sprache

- in der DDR ……………Kuniomi Uchimura  
 『失われた時を求めて』における作中人物の出現と  
 話者のまなざし……………北川原 哲 夫  
 カミュと〈他者〉……………村 岡 正 明  
 [書 評]

(I) LE DASAVATTHUPPAKARANA

Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE

(II) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA

Texte pāli et traduction par Jacqueline VER EECKE

……………森 祖 道



〔研究ノート〕

渭浜庵執筆一茶……………黄色瑞華

## 第 11 号 (1984 年)

〈人間 = 記号〉論について……………西勝忠男

教育場面における夢の活用 (Ⅲ)

— ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判 —……………細部国明

Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst - Ⅲ.

Die Herausbildung der (verbalen) Satzklammer……………藤井明彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den

sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR……………Stefan Wundt

知と自我

— 初期シェリング哲学の原理について —……………小林保則

歌人 安江不空……………小野浩

『我春集』の序文をめぐる……………黄色瑞華

## 第 12 号 (1985 年)

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題

— イタリア民族形成史の一こま —……………森田鉄郎

教育場面における夢の活用 (Ⅳ)

— ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判 —……………細部国明

ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学

— Timber の詩論を通じてジョンソンの詩を読む —……………平松哲司

Die Kommunistische Erziehung und ihre

Wertvorstellungen……………Stefan Wundt

シャルル・モーロンの「精神批評」(3)……………越坂部則道

『我春集』から『株番』へ……………黄色瑞華

〔研究ノート〕

農村集落における精神的ムラ境の諸相

— 茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として —……………小口千明

ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権

— 「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説 —……………畑尻剛

グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉……………鈴木敏夫

## 第13号(1986年)

巻頭言	石南國
“鏡”の論理から“魂”の論理へ	
——人間記号論序説——	西勝忠男
北欧中世(スエーデン)における自力救済慣行	
——実力社会の一考察——	伏島正義
潮湯の偏在性に関する地理学的予察	
——日本における海水浴普及との関連から——	小口千明
ジョイスの“Exiles”における受難の思想について	茂呂公一
EloisaとBelindaの相違	石川郁二
状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に 見られる共通特性	鎌田精三郎
R. Huchの〈スイスの春〉覚え書	
——研究ノート——	鈴木敏夫
J. ヴァイスヴァイラーのSeeleの語源説をめぐって	藤井明彦
ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と 人物描写について	飯塚英一
エアリエルの材源再考	門野泉
パトナム、シドニーの <i>sprezzatura</i> 精神 ——宮廷世界の美学と「ルネサンス・ヒューマニズム」の対峙——	平松哲司
The Dimensions of the U. S.—Japanese Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue	古川友章
神話概念の変遷Ⅱ	
——翻訳語としての『神話』をめぐって(上)——	天沼春樹
自己言及のかたち	
——『イリュミナシオン』「生活Ⅲ」と「生活Ⅰ」を読む——	新宅巖
フロバールにおける登場人物と場面	大久保政憲
『息子』	
——翻訳——	アルトウール・シュニツラー 春日正男
『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅰ	越坂部則道
アンドレ・ジッドの方法(VI)	陶山曠

アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書——

- 絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題……………堀 田 郷 弘  
 「シルス・マリーア」をめぐって……………河 内 信 弘  
 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策……………大豆生田 稔  
 歌人 安江不空・序(3)  
 ——大和歌の問題——……………小 野 浩  
 『志多良』の序文をめぐって……………黄 色 瑞 華  
 高橋克巳論——虚無僧のパトス……………山 口 勲

## 第 14 号 (1987 年)

- Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās……………Sodō Mori  
 キーツの『秋に寄せて』(二)  
 ——第 2 連の情景——……………永 井 豊 実  
 坪内逍遙とシェイクスピア  
 ——帝劇『ハムレット』をめぐって——……………小 野 昌  
 TENSE and TIME in English……………Seizaburo Kamata  
 コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐって……………繁 田 眞 弓  
 Kajii Motojiros “Fliegen im Winter”……………Stefan Wundt  
 E. T. A. ホフマン『さびれた家』  
 ——作話技術を中心に……………齊 藤 洋  
 バルザックの小説の提示部について……………佐 野 栄 一  
 [研究ノート]  
 ニーチェにおける詩人  
 ——ニーチェの詩の理解のために——……………河 内 信 弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……………黄 色 瑞 華  
 イェイツの「一エーカーの草地」について  
 ——〈悟り〉か〈狂気〉か——……………小 堀 隆 司  
 アポリネールの恋の詩と真実……………堀 田 郷 弘

## 第 15 卷 第 1 号 (1987 年)

- 推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……………西 勝 忠 男

“Elegy to the Memory of an Unfortunate

- Lady”と“Eloisa to Abelard” ……………石川郁二  
*Faerie Queene*, Book Iにおける「光」と「闇」……………古川啓二  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(二)……………黄色瑞華  
 「松のひゞき波をしらぶ」考……………安保博史  
 イェイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について  
 ——幻滅の狡智——……………小堀隆司

### 第15巻 第2号(1987年)

- A Study of the *Sihalavathuppakarana* ……………Sodō Mori  
 The Acquisition of English and the Learner's Attitude  
 ——Motivation vs. Ego Boundary——……………Fumiko Tamura  
 James Joyceの“Exiles”と芥川龍之介の  
 『藪の中』との類縁性(1)  
 ——人物像を中心にして——……………茂呂公一  
 結婚で終わらない喜劇, *Love's Labour's Lost* の構造……………小野昌  
 テーオドア・フォンターネ: グスタフ・フライタークの  
 〈借り方と貸し方〉(試訳)……………鈴木敏夫  
 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』  
 におけるマカーリエ神話……………萩野静男  
 神話概念の変遷 I  
 ——Mythosの語史に関して(上)——……………天沼春樹  
 ニーチェにおける夕  
 ——詩人としてのニーチェ——……………河内信弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』の句(三)……………黄色瑞華

### 第16巻 第1号(1988年)

- ジョイスの“Exiles”と芥川龍之介の『藪の中』に  
 おける卍巴模様の構造と、真相の曖昧さの  
 意味について  
 ——ジョイス受容史への加筆の試み——……………茂呂公一

- カミュの「無差異」について……………村岡正明  
 Dostoevskij の小説における思想上の傾向……………シュテファン・ヴント  
 イェイツ「ビザンチウムへの船出」について  
 —聖なる彼方の詭計—……………小堀隆司  
 バシュラルの死をめぐる  
 —『バシュラルと過ごしたひと夏』とその研究Ⅱ—……………越坂部則道  
 ニーチェにおける第七の孤独……………河内信弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(四)……………黄色瑞華

### 第16巻 第2号 (1988年)

- ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』  
 —《死の薬》をめぐる—……………春日正男  
 『結婚の生理学』におけるバルザックの政治  
 と文学の問題……………佐野栄一  
 イェイツの「塔」について  
 —反復としての回想—……………小堀隆司  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(五)……………黄色瑞華

### 第17巻 第1号 (1989年)

- The Value of the Pāli Commentaries as  
 Research Material……………Sodō Mori  
 Eloisa は幸福を手に入れるか  
 —An Essay on Man を基にして—……………石川郁二  
 西ベルリンと国際関係  
 —ドイツ人のベルリン報告—……………シュテファン・ヴント  
 Zur Erzählstruktur in Kafkas  
 《Von den Gleichnissen》……………Tetsuo Kotani  
 ディオニュソス酔歌(翻訳)……………河内信弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(六)……………黄色瑞華  
 会員消息欄

## 第17卷 第2号 (1990年)

- 乳児の発達……………細 部 国 明
- モーツァルトの『魔笛]  
— オペラにおける教養小説 — ……春 日 正 男
- A Review of Tesl Method ……John Parsons
- “詩的に” 考える  
— ハイデッガーの作品『思い出』における  
考えることの本質への問い — ……高 島 明
- イエイツ『鷹の井戸』  
— 転生のための不可能性 — ……小 堀 隆 司
- 一人称のパシュラール  
— 『パシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅲ — ……越坂部 則 道  
〔研究ノート〕
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句 (七) ……黄 色 瑞 華

## 第18卷 第1号 (1990年)

- 水滴の歌  
— T. S. エリオットの声 — ……佐 藤 亨
- 呪文としての文学  
— 『アメリカ人の成り立ち』の場合 — ……三 芳 康 義
- イエイツ『煉獄』について  
— 生の呪詛と断念 — ……小 堀 隆 司
- アンドレ・ジッドの方法 (Ⅶ)  
『法王庁の抜け穴』をめぐって (その1) ……陶 山 曠  
〔研究ノート〕
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句 (完) ……黄 色 瑞 華
- 会員消息欄

## 第18卷 第2号 (1991年)

- The Temple of Fame* における  
過去, 現在, 未来……………石 川 郁 二
- 中国の古典比喩理論  
— 日本と西洋との比較を通して — ……楊 麗 雅

〔研究ノート〕

幼児期以後の発達……………細 部 国 明

Changing Views of the West's Impact

on China ……………J. H. Parsons

ドイツ民主共和国における拒否的教養小説の

影響力……………シュテファン・ヴント

ワーグナーの『ローエングリン』

—引き裂かれた魂— ……………春 日 正 男

〔翻 訳〕

プリンツ・フォーゲルフライの歌

—“Die fröhliche Wissenschaft” にそえられた

ニーチェの詩の翻訳の試み— ……………河 内 信 弘

アンドレ・ジッドの方法（Ⅷ）

『法王庁の抜け穴』（その2）

—『鎖を離れたプロメテ』と『バリユード』をめぐって—

……………陶 山 曠

## 第 19 卷 第 1 号（1991 年）

『恋の骨折り損』の春と冬のかげ合いについて ……………小 野 昌

制度化された学校教育の功罪への問い

—I. イリッチ, K. アウリン, E. E. ガイスラーの

学校論を廻って— ……………高 島 明

漱石文学の比喩表現におけるイメージ研究

—夢・絵画・幽麗— ……………楊 麗 雅

イエイツ「自我と魂の対話」について……………小 堀 隆 司

アンドレ・ジッドの方法（Ⅸ）

『インモラリスト』—ソチの観点から……………陶 山 曠

〔翻 訳〕

菊池 寛：蘭学事始……………河内信弘, シュテファン・ヴント（共訳）

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(1) ……………黄 色 瑞 華

## 第19巻 第2号 (1992年)

- 道化のコンセプト……………小野 昌  
 日本語助詞「は」と「が」  
 ——情報伝達の観点から——……………鎌田 精三郎  
 夏日漱石の比喩論……………楊 麗 雅  
 ガートルード・スタイン：「戯曲」の始まり……………三 芳 康 義  
 [翻 訳]  
 中島 敦：『弟子』……………河内信弘, シュテファン・ヴント(共訳)  
 [研究ノート]  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(2)……………黄 色 瑞 華

## 第20巻 第1号 (1992年)

- リルケとロシア絵画——三つの計画——……………安 家 達 也  
 [研究ノート]  
 教育評価について……………細 部 国 明  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(3)……………黄 色 瑞 華  
 [翻 訳]  
 中島 敦：『弟子(その2)』および『山月記』  
 ……………河内信弘, シュテファン・ヴント(共訳)  
 「慰められるクフーリン」と「黒い塔」について  
 ——イエイツ最後の動揺——……………小 堀 隆 司

## 第20巻 第2号 (1993年)

- G. スタインの「メランクサ」  
 ——“Bottom Nature”を求めて……………三 芳 康 義  
 [研究ノート]  
 エーミール・エルマティンガーの  
 「ゴットフリート・ケラーの生涯」(再読)……………鈴 木 敏 夫  
 知能について——知能構造と教育——……………細 部 国 明  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(4)……………黄 色 瑞 華  
 [書 評]  
 「会社主義」と法——紹介=東京大学社会科学研究所編  
 『現代日本社会』(全7巻)——……………述 田 齊



## イエイツ「動揺」について (I)

—〈存在〉から遙か離れて— ……………小堀隆司

## 第21巻 第1号 (1993年)

## アンドレ・ジッドの方法 (X)

—『インモラリスト』—ソチの観点から(2)— ……………陶山 曠

シェイクスピアの『リア王』の材源について……………小野 昌

ワーグナーの『さまよえるオランダ人』

—永遠に呪われた者の救済について— ……………春日正男

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』……………河内信弘, シュテファン・ヴント(共訳)

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(5) ……………黄色瑞華

## 第21巻 第2号 (1994年)

## アンドレ・ジッドの方法 (XI)

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って— ……………鈴木 たけし

坪内逍遙と福田恆存

—劇作家とシェイクスピア— ……………小野 昌

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(6) ……………黄色瑞華

## 第22巻 (1995年)

## アンドレ・ジッドの方法 (XIII)

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って(3)— ……………鈴木 たけし

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』(その2) ……………シュテファン・ヴント, 河内信弘(共訳)

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(7) ……………黄色瑞華

## 第23・24巻 合併号 (1997年)

シェイクスピアの『リア王』のテイトによる改作について……………小野 昌

## Passion と Virtue の構成

- Eloisa to Abelard*— ……石川郁二  
 イェイツ「動揺」について(Ⅱ)〈承前〉……小堀隆司

## 第25巻(1999年)

- 自伝論について……鈴木敏夫  
 『レノーレ』のケルトの余韻 ……永井豊実  
 現代日本語の未完了アスペクトと未来表現……鎌田精三郎  
 アンドレ・ジッドをめぐるエッセー I  
 —『新感情教育』草稿と『ブルターニュ紀行』  
 をめぐって ……鈴木たけし  
 萩原朔太郎「ニイチェに就いての雑感」について……河内信弘

## 第26巻(2000年)

- イェイツ「万霊節の夜」について  
 —その果しなき思惟の詩学— ……小堀隆司  
 アンドレ・ジッドの方法(XVI)  
 —『インモラリスト』—そのマニエスクリを  
 追って(6)— ……鈴木たけし  
 「ツアラトウストラの歌」ニーチェ 1883-1885 ……河内信弘  
 [研究ノート]  
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解(8) ……黄色瑞華

## 第27巻(2002年)

- リアの3人の娘たちと王権の行方……小野昌  
 水戸藩「刑典摘要」について  
 —解題と翻刻— ……神崎直美  
 [研究ノート]  
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解(9) ……黄色瑞華

## 第28巻(2003年)

- イェイツ  
 「ハールーン・アル＝ラシードの贈り物」について(I)……小堀隆司

## 西国筋郡代寺西元栄の徒罪認識と人足寄場改革案

——老中水野忠邦への上申書を素材として—— ……………神 崎 直 美  
〔研究ノート〕

## G. ケラー『緑のハイน์リヒ』

——三人の女性登場人物の背景描写—— ……………鈴木 敏 夫  
嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解(10) ……………黄色 瑞 華

## 第 29 卷 (2006 年)

制限主権論……………森 田 昌 幸

## アメリカ黒人女性の奴隷体験

——ブラック・フェミニズムの源流を探して—— ……………大 橋 稔  
〔研究ノート〕

## 文章理解を促進する図解についての

認知心理学的研究……………鈴木明夫・栗津俊二

『おらが春』所収句全注解(六)……………黄色 瑞 華

イエイツ「学童たちのなかで」(その一)……………小 堀 隆 司

## 「たわむれ たくらみ しかえし」

——『楽しい知識』に添えられたニーチェの詩の翻訳の試み—— ……河 内 信 弘

## 「刑法新律草稿」に関する一考察

——彦根藩佐野領「刑法窺留」を素材として—— ……………神 崎 直 美

## 第 30 卷 (2009 年)

## ブラウン訴訟事件判決後の米国公立学校での人種要因

考慮プログラムを巡るシアトル第一学区訴訟判決について  
……………日 吉 和 子

“honour is the subject of my story”:

## Representing the Construction

of Male Selfhood in *Julius Caesar* ……………Minako NAKAMURA

『おらが春』所収句全注解(七)……………黄色 瑞 華

## 日向国延岡藩内藤充真院の鎌倉旅行

——光明寺廟所参拝と名所めぐり—— ……………神 崎 直 美

## 『大つごもり』の「をどり」について

——解説と考察—— ……………井 汲 明 夫

## 第31巻 (2012年)

- アラン・シャルティエの『つれない美女』(1)……………永井豊実  
 E. S. ガードナーの「ペリー・メイスン」絶滅の謎……………日吉和子  
 アメリカ黒人女性作家と新奴隷体験記  
 — 奴隷制の記憶の受容と克服 —……………大橋稔  
 “Mine honesty and I begin to square”:  
 Masters and Servants in *Antony and Cleopatra*……………Minako NAKAMURA  
 日向国延岡藩内藤充真院の蔵書  
 — 蔵書の分野と関心事項について —……………神崎直美  
 金子みすゞ童謡の中国語訳の試み……………樊穎

## 第32巻 (2015年)

- 佐多の走った道と住んだ家……………井汲明夫  
 日向国延岡藩内藤充真院の大坂寺社参詣……………神崎直美  
 金子みすゞ童謡の中国語訳の試み(二)……………樊穎  
 イェイツ『幻想録』(一九二五)の「献辞」について……………小堀隆司

## 第33巻 (2018年)

- 川越観光化にみる蔵造りへのまなざしとその変化  
 ……………高橋珠州彦・山下琢巳・小口千明・古川克  
 「果て」ることのない痛み  
 — 柳美里「8月の果て」試論 —……………神村和美  
 ボイズラブによって攪乱／固定化されるジェンダー構造:  
 フェミニズムの視点から考えるボイズラブの可能性……………大橋稔  
 日向国延岡藩主内藤政順・充姫夫妻の婚礼……………神崎直美  
 金子みすゞ童謡の中国語訳の試み(三)……………樊穎  
 イェイツ『幻想録』(一九二五)に見る両極的思考の構図  
 — 「序文」と本論「第一節」を中心に —……………小堀隆司

## 城西大学経済学会会則

- 第1条 本会は城西大学経済学会と称する。
- 第2条 本会は事務局を城西大学経済学部内に置く。
- 第3条 本会は経済学、経営学、人文・社会諸科学の研究および発表を目的とする。
- 第4条 本会は次の事業を行う。
1. 機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の発行。
  2. 研究会および講演会の開催。
  3. その他必要と認める事業。
- 第5条 本会は次の者をもって組織する。
1. 正会員 本学経済学部の教授、准教授、講師、助教および助手。
  2. 特別会員 評議員会の承認を得た者。
  3. 準会員 本学経済学部および大学院経済学研究科の学生。
- 第6条 正会員および準会員は次の会費を納入するものとする。
- 正会員 年額 10,000円
- 特別会員 年額 10,000円
- 準会員 年額 2,000円
- 但し、準会員に対する会費徴収は、当分の間行わない。
- 第7条 本会に次の機関を置く。
1. 会長 経済学部長がこれに就任する。
  2. 会員総会 正会員全員をもってこれを構成する。
  3. 評議員会 本学経済学部の教授、准教授、講師および助教をもってこれを構成する。
  4. 委員会 委員は正会員中より会長がこれを選考し、評議員会の承認を得て委嘱する。
  5. 機関誌編集、研究会、講演会、庶務および会計の職務分担は委員会においてこれを定める。
- 第8条 正会員は、機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の配布を受ける。特別会員および準会員は、希望に応じて機関誌の配布を受けることができる。
- 第9条 本会会則の改正は、正会員2分の1以上出席し、その3分の2以上の

賛成をもってこれを決議する。

第10条 本会会則は昭和40年4月20日より施行する。

\* 昭和49年4月改正（『城西人文研究』創刊）

昭和52年4月改正（会費3,000円）

昭和54年4月改正（会費2,000円）

昭和55年10月17日改正、同年11月21日施行

平成元年4月改正（準会員会費徴収を一時停止）

平成6年3月18日改正、同年3月25日施行

会費改訂（正会員および特別会員10,000円 準会員2,000円）

平成20年3月21日改正、同日施行

（正会員および評議員中、助教授を准教授とし、助教を加える。）

以上

編集委員

神 崎 直 美

小 堀 隆 司

樊 穎

城西人文研究

〈第34巻〉

---

平成31年3月30日

編 集 兼 城西大学経済学会  
発 行 人 人文研究編集委員会

(〒350-0295) 埼玉県坂戸市けやき台1-1  
TEL 049-286-2233(代)

© 代表者 李 熙 錫

埼玉県鶴ヶ島市脚折町1-19-40

印 刷 所 (有)東京工芸社  
TEL 049-285-4611

---

# JOSAI JINBUN KENKYU

— Studies in the Humanities —

## Contents

Kaneko Tohta as the “Incident” of Postwar Haiku History:  
His Life and Philosophy .....Yuki ITO ( 1 )

Contribution of Sapling Production Area to the Formation of *Citrus Unshiu*  
Production Area in Modern Japan  
— Focus on *Ikeda-nae* produced in Inano Village, Kawabe County,  
Hyogo Prefecture — .....Hiroko TOYOTA (29)

The World, Martin Luther King, Jr. Aimed at:  
Analysis to Take Over His Dream .....Minoru OHASHI (47)

Evaluation of the Formation Process in Tourist Attractions about the  
“KURAZUKURI” Landscape : Comparative Analysis of Kawagoe, Kurashiki,  
and Kaketsuka Takumi YAMASHITA · Tomomi YANAGISAWA  
.....Chiaki OGUCHI · Katsumi FURUKAWA (77)

\* \* \*

A Study of *Gojusan-tsugi Nemuri no Ainote* by Naito Jushin-In  
(Nobeoka Domain, Hyuga Province) .....Naomi KANZAKI ( 1 )

The Structure of Polarized Thinking in Yeats’s *Vision* (1925) ( II )  
.....Ryuji KOBORI (39)